

新規作物（赤米・黒米）の導入により所得アップ

【令和2年度補正】

主食用米等より高収益な赤米・黒米へ（新規作物を導入した事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

【地区名】 吉井上地区（福岡県糸島市）

【現況】

- ・ 水稻（主食用米）とWCS用稲を作付けしているが所得が低迷。
- ・ 中山間地域は、区画が小さく大型機械の導入が困難なため、従来作物よりも収益性の高い作物の導入が必要。



①加工食品の試作

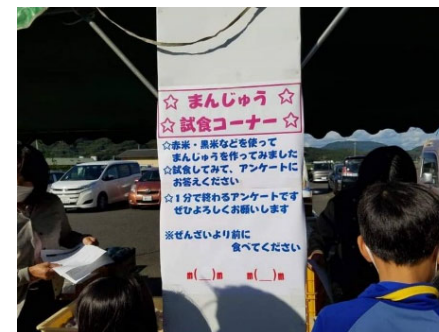
アンケート調査を行うため赤米・黒米を使用したかるかん饅頭を試作



①試作した「かるかん饅頭」

②消費者アンケートの実施

試作した「かるかん饅頭」3種を用いて消費者アンケートを実施（2会場3日間）



②消費者アンケートの様子

③所得アップのための取組

かるかん以外の新商品「赤米パン」を開発しつつ、原料として使い勝手のよい製粉化に取り組むなど所得をアップ



③新商品の「赤米パン」

取組の成果

令和5年度の赤米・黒米の販売額は1,150千円となっており、現況値の820千円から販売額が着実に増加（40%増）している。

現況値(R2)	目標値(R5)	実績値(R5)
820千円	1,000千円	1,150千円

調査・検討・実践